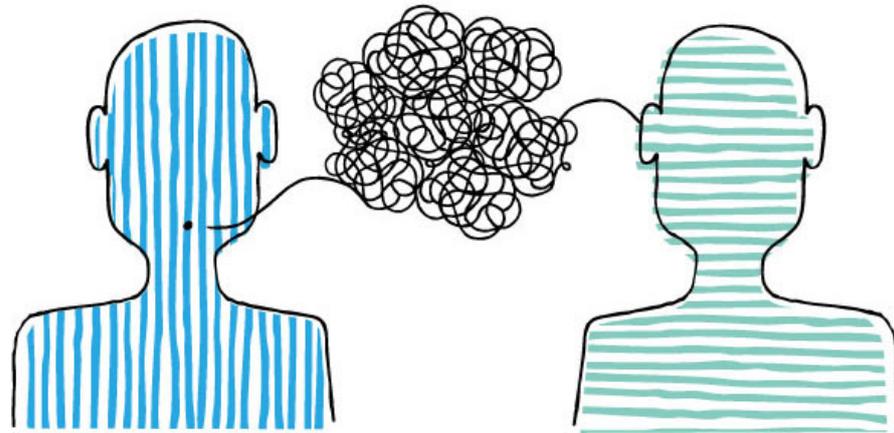


研究広報とアウトリーチ活動のための取組

シニアURA 岩崎 琢哉



はじめに | 研究広報とアウトリーチ活動のための取組

アウトリーチ・チームが担当する業務を、URAの定着に向けた取り組みと、担当実務に分けて紹介します。

定着

実務

定着

- メールマガジンの発行
- RA研究会、URAシンポジウムへの企画への参加

- **【ダイレクト】** 学内の関係組織、学外のURA整備事業関連法人などに向けて、大阪大学における「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」事業に対する取り組み情報などを、直接届ける。
- **【対話型】** メールマガジンで送信していることをふまえ、個人対個人の対話によるコミュニケーションを積極的に行う。

定着 > メールマガジンの発行

●大阪大学URAメールマガジン

- URAシステム整備のインフラとして2013年10月創刊、毎月1回発行。
- 研究推進、研究支援に関する話題をURAならではの視点で扱う。
- 配信先は学内外の約530名。

【内訳】

学内約300名(執行部、理事補佐、部局長、本部部課長、URA・研究支援業務担当者等)
学外約230名(他大学URA、文科省・JSPS・JST関係者等)

- ページ別訪問数は1号あたり平均618件

2013年10月17日～2015年2月26日。vol.1～16まで

定着 > RA研究会、URAシンポジウムへの企画参加

- 平成24年度 第2回URAシンポジウム(平成25年3月12日・13日開催)
- 平成25年度 第3回URAシンポジウム・第5回RA研究会(11月18日・19日開催)
- 平成26年度 第4回URAシンポジウム・第6回RA研究会合同大会(9月17日・18日開催)

- ポスター発表
- 研究広報・アウトリーチ関連のセッションをオーガナイズ

※(RA研究会の準備委員としてもコミット)

実務

- アウトリーチ活動の普及のための指導
 - イベント実施を通じた事案
 - ウェブサイト等を通じた情報発信の事案
 - 講習会の実施
 - 独自企画の準備と新規協力先の開拓
- 部局URAとの情報交換・協力

- **【OJT形式】** 研究者へのアウトリーチ実行にかかる支援は、その所属部局のスタッフと共同で行い、また基本的には(関係者同士の了解のもとで)スタッフへのOJTとして行う。
- **【人をふやす】** アウトリーチ支援の担い手・経験者を増やす。
- **【適切なサポート】** 支援内容に定型を定めず、臨機応変に、必要とされるところを見極めて提供する。

実務 > アウトリーチ活動の普及のための指導(イベント)

イベント実施のプロセスを OJT として活用する → 学内の担い手を増やす

- アウトリーチ活動の実施にあたり、求めに応じて要件整理の段階からコミットする
- オペレーションマニュアルを提供する(スタッフ用、研究者用)
- 研究者とサポートスタッフの橋渡し、各種のコーディネート

実際の案件はこちらをご覧ください

<http://www.ura.osaka-u.ac.jp/houkokukai/or/>

※この取り組みには、URAの活動を学内外に伝える副次的な効果があった

実務 > アウトリーチ活動の普及のための指導(ウェブ)

ウェブサイト運営による情報発信を支援

- ウェブサイトの新規設置・リニューアル案件に対するノウハウ提供
- 制作会社の選定、要件定義、ディレクションなど公開前の段階へのサポート
- ソーシャルネットワークの併用など、公開後の段階へのサポート
- 多言語(日本語・英語など)展開へのサポート
- 取り扱い実績:平成24年度より学内 27 サイト

実務 > アウトリーチ活動の普及のための指導（講習会）

アウトリーチ活動の企画運営に資する講習会の実施

- 広報に関する講習会
- 撮影に関する講習会
- ソーシャルネットワークの利用に関する講習会

実務 > アウトリーチ活動の普及のための指導（新規開発）

独自企画の準備と新規の学外の協力先を開拓する

●二頁だけの読書会

- 人文・社会科学系研究の学術書を入り口とした対話プログラム。
- 2013年12月立ち上げ。これまでに4回開催（歴史学、人類学、臨床哲学×サステイナビリティ・サイエンス、演劇学）。
- 研究大学強化促進事業の一環。
- りそな銀行CSR部門、大阪大学出版会と連携。
- 新たな客層に訴求。定員30名が毎回受付開始から2~3時間で満席に。

●「考える」を考える学校

実務 > 部局URAとの協力

- OJTを通しての情報交換
- 独自企画を通しての協力
- そのほかの例

PDCAの履歴 | 研究広報とアウトリーチ活動のための取組

- アウトリーチ活動の普及のための指導について
 - イベント実施 OJT の改善
 - 学外との共同企画などの展望
 - 情報発信 OJT の改善と今後
- 取り組みの発信と(学内)ネットワーキングについて
 - メールマガジン
 - ネットワーキングからのスピンアウト

●アウトリーチ活動への企画協力・オペレーション(実施)マニュアル提供など

サイエンスカフェ・オンザエッジ「なぜ、ワクチンは効くのか」(伊勢 渉 / 大阪大学免疫学フロンティア研究センター(WPI-IFReC)特任准教授)、サイエンスカフェ・オンザエッジ「ノーベル賞でたどる免疫学の歴史」(植松 / 東京大学医科学研究所国際粘膜ワクチン開発研究センター 特任教授)、研究ときめき*カフェ「“すべての”元素を超伝導に」(清水 / 大阪大学極限量子科学研究センター教授)、研究ときめき*カフェ「百聞は一見にしかず～細胞のなかで働くタンパク質の形をみる～」(栗栖 / 大阪大学タンパク質研究所教授)、サイエンスカフェ・オンザエッジ「いちばん新しい免疫の話」(黒崎知博 / 大阪大学免疫学フロンティア研究センター(WPI-IFReC)特任准教授)、生命科学図書館20周年記念企画サイエンスカフェ「この研究ができるまで～研究の誕生と成長のプロセス」(岡村康 / 大阪大学大学院医学系研究科教授、大阪大学大学院生命機能研究科教授)、カフェ・オンザエッジ・ネクスト「続・プリンターで、細胞を、生きたまま印刷する！」(松崎典弥 / 大阪大学大学院工学研究科 助教)、カフェ・オンザエッジ・ネクスト「最近時々聞く『トポロジカル絶縁体』って何？」(安藤陽一 / 大阪大学産業科学研究所教授)、カフェ・オンザエッジ・ネクスト「心臓—その働き者の秘密を探る」(高島成二 / 大阪大学大学院医学系研究科准教授)、研究ときめき*カフェ「マグネシウムと生命:がん研究から明らかになってきた意外なつながり」(三木裕明 / 大阪大学微生物病研究所教授)、カフェ・オンザエッジ・ネクスト「原子を狙ったところに配置する『自己組織化』技術とその研究最前線」(柳田剛 / 大阪大学産業科学研究所准教授)、大阪大学中之島サイエンスカフェ「物質が隠し持った機能の引き出しを開けるには」(福井賢一 / 大阪大学大学院基礎工学研究科教授)、大阪大学中之島サイエンスカフェ「もっと見たい!情報科学と生命科学からのアプローチ」(向川康博 / 大阪大学産業科学研究所准教授)、研究ときめき*カフェ「遺伝子/染色体が語るヒトの姿—出産/流産とガンの話」(篠原彰 / 大阪大学蛋白質研究所教授)、大阪大学中之島サイエンスカフェ「続・心臓—その働き者の秘密を探る」(高島成二 / 大阪大学大学院医学系研究科教授)

続き:

研究ときめき*カフェ「たった4文字“ATGC”の情報から何が分かるのか?～次世代遺伝情報解析の世界～」(中村昇太 / 大阪大学微生物病研究所助教)、大阪大学中之島サイエンスカフェ「高校生には分かるまい!物理学の最前線:トポロジカル絶縁体」(安藤陽一 / 大阪大学産業科学研究所教授)、研究ときめき*カフェ「新しい光、テラヘルツ波でみる世界～バイオ・セキュリティ・太陽電池～」(川山巖 / 大阪大学レーザーエネルギー学研究センター准教授)、研究ときめき*カフェ「"省く"を究める。データセンターにおける省エネルギーの追求から学ぶ考え方のヒント。」(松岡茂登 / 大阪大学サイバーメディアセンター教授)、研究ときめき*カフェ「『1分子DNAシーケンシング』とはどんな技術なのか」(谷口正輝 / 大阪大学産業科学研究所教授)、研究ときめき*カフェ「見えない人の視覚をサポートする。私たちがものを見る仕組みと、人工視覚の研究について」(亀田成司 / 大阪大学臨床医工学融合研究教育センター特任准教授)、ナレッジキャピタルのカフェラボで、サイエンスカフェ「細胞を並べて積み重ねる話の、第三話。」(松崎 典弥 / 大阪大学大学院工学研究科助教)、ナレッジキャピタルのカフェラボで、サイエンスカフェ「毒と薬～ボツリヌス毒素が体内に侵入する仕組みの秘密から」(藤永 由佳子 / 大阪大学微生物病研究所特任教授)、研究ときめき*カフェ「自分でもわからない、このジブン」(犬飼佳吾 / 大阪大学社会経済研究所講師)、研究ときめき*カフェ「仕事のモチベーション」(藤岡伸介 / 大阪大学レーザーエネルギー学研究センター准教授)、研究ときめき*カフェ「仕事を理想に近づける」(近藤勝義 / 大阪大学接合科学研究所教授)、研究ときめき*カフェ「チームワークって?」(保田英洋 / 大阪大学超高压電子顕微鏡センター長・教授)、研究ときめき*カフェ「アイデアのつくり方」(青井考 / 大阪大学核物理研究センター教授)、私の研究、今、ココです!「光の不思議にせまります。」(小川哲生 / 大阪大学大学院理学研究科教授)、私の研究、今、ココです!「生き方」「死に方」を考える。」(山中浩司 / 大阪大学大学院人間科学研究科教授)、私の研究、今、ココです!「誘惑と自製のあいだ。」(池田新介 / 大阪大学社会経済研究所教授)、私の研究、今、ココです!「飛鳥からの伝言、木簡を読む。」(市大樹 / 大阪大学大学院文学研究科准教授)、私の研究、今、ココです!「地震はなぜ起こる?」(廣野哲朗 / 大阪大学大学院理学研究科准教授)